

誰でも言いそうなことばかり毎日言っているのに、なぜ、その人独自のユニークさが現れているのだろう。

「誰でも～言っている」と、「なぜ、～現れているのだろう。」が、「のに、」で結ばれています。二つの文を最後に、but でつなぎたいと思います。

A. 誰でも言いそうなことばかり毎日言っている

「言っている」は、

・ S say A 「S は A をいう」

ですね。「毎日」があることからわかるように、【いつも】のイメージなので、習慣を表すことができる現在形を使って表現します。【発言している主体】は、引き続き【一般の人】です。you を入れます。【発言の内容】である A には、日本語で言うと「誰でも言いそうなこと」に当たる部分です。

(1) you say A

「彼が言うこと」は what he says です。「誰でも」は everyone なので what everyone says に、そして「そう」は、

・ S is likely to DO 「S は DO しそうだ」

が使えると思い、組み込みました。

(2) what everyone is likely to say

この(2)を(1)の A に入れます。

(3) **you say what everyone is likely to say**

ばかり

【ずっと】というイメージなら **always**、【それ以外はない】なら **only** です。どちらでもよさそうですが、今回は後者を使いました。【それ以外はない】の【それ】に当たる表現の前に置くのが普通ですよね。 **what everyone is likely to say** の前に置きます。

毎日

これは、**you say** の **say** を修飾しています。(3) **you say what everyone is likely to say** のカタマリの後ろに置くと **everyone is likely to say** を修飾してそうにも見えます。このくらいだと誤解されなさそうですが、安全を期して、文頭に持ってきてきたいと思います。

「ばかり」と「毎日」を入れたものは次のようになります。

(4) **every day you say what everyone is likely to say**

B. なぜ、その人独自のユニークさが現れているのだろう。

「現れる」に当たる述語を、

・ S appear 「Sは現れる」

としてもいいのですが、そこから始めると、「ユニークさ」にあたるものを主語として、表さなければなりません。**uniqueness** はあまり使ったことがないので自信がありません。別の述語を考えます。

イメージを広げていると、【ユニークさが表れている人や物】が浮かんできました。【他にはない特徴を持っている】感じが述語として表現できそうです。**unique** ですね。

・ S is unique 「Sはユニークだ」

を使うことにしました。Sには【ほかとは違っているもの・ひと】が入ります。日本語を参考にすると、**the person** になりそうですが、Aで使った【一般の人】に当たります。**you** をSに入れます。

(5) **you are unique**

独自の

これは、**unique** の中に含まれています。訳出不要だと判断しました。

なぜ、

why ですね。疑問詞の典型的な場所である文頭に置きます。それに応じて、(5)の **are** を **you** の前に表現します。最後のクエスチョンマークは忘れずに。

(6) **why are you unique ?**

C. A. + B.

予定通り、A. でできた **every day you say what everyone is likely to say** と B. でできた **why are you unique?** の二つの文を , **but** で結びます。

(6) **Every day you only say what everyone is likely to say, but why are you unique?**

Model Answer

You only say what everyone is likely to say every day, but why are you unique?